

情報コーナー

★天文教育普及研究会関係の会合やイベント

○日本天文学会 2004 年春季年会・天文教育フォーラムのおしらせ

天文教育普及研究会・日本天文学会共催

テーマ：「天文分野、これを教えたい、これを教えてほしい」

日時：日本天文学会春季年会開催中（3月22日～24日：詳細未定）

場所：日本天文学会春季年会会場（名古屋大学・詳細未定）

内容：ここ数年、すばる望遠鏡や科学衛星の観測成果が教科書に掲載されるようになってきました。しかし、次々にいろいろな天文学の研究成果が出る中、教科書や各種資料集などで、学校教育現場で取り上げてほしいこと、学んでほしいことはまだまだあると思います。そこで、今回の学習指導要領の一部改訂を見据えて、「新しい科学の教科書」の執筆者に基調講演をしていただくとともに、理科の教科書の監修に携わっている研究者の方、また学校の先生の方からも「わたしたちはこれを教えたい」「これを教えてほしい」といった意見を出していただきたいと思います。また、図鑑監修や一般普及書を執筆している立場の方からもコメントしていただきます。これらの意見やコメントをふまえ、全体討論を行って、教育普及者側・研究者側から、「学んでほしい内容」についての提案を行うことができればと思います。

<プログラム>

- 基調講演「新しい科学の教科書について」 左巻健男(京都工芸繊維大)
- コメント「教科書執筆 ～研究者の立場で～」 家正則(国立天文台)
- コメント「学校教員の立場」 五島正光(巣鴨中学・高等学校)
- コメント「一般普及書執筆者の立場」 杉山直(国立天文台)
- コメント「図鑑監修の立場」 半田利弘(東京大学理学部天文学教育研究センター)
- 総合討論

実行委員：矢治健太郎（かわべ天文公園）、鈴木雅夫（名古屋市科学館）

沢武文（愛知教育大学）、加藤万里子（慶応義塾大学）

○高校生天体観測ネットワーク（Astro-HS）全国フォーラム 2004 第一報

私たちは、1998年のしし座流星群の観測を契機に、高校生の全国ネットワークを築いてきました。このネットワークは、教育・普及面の成果だけでなく、着実に科学的な成果も上げています。2003年度は、水星日面通過、火星大接近、およびペルセウス座流星群という様々なテーマに挑戦しました。また、来年度は金星日面通過や、肉眼彗星になる可能性も指摘されている二大彗星の観測を行います。

今年度実施した全国フォーラムに続き、第3回目のフォーラムを下記のように開催します。

高校生による活動報告、交流会、関連するテーマでの指導者、研究者による発表、ならびに来年度の観測テーマについて、今年度参加グループのみならず、来年度からの参加を予定しているグループも、是非ご参加ください。

期 日 : 2004年3月21日14時~18時

会 場 : つちやホテル

〒453-0014 愛知県名古屋市中村区則武 2-16-2

TEL 052-451-0028 FAX 052-451-9361 <http://www.tsuchiya-hotel.co.jp/>

内 容 : ・ Astro-HS 活動報告
 ・ 観測会参加グループの活動報告
 ・ 観測会参加グループの交流会
 ・ 天文教育・普及に関する一般発表
 ・ 次年度観測テーマに関連する発表
 ・ 観測技術講習会

* 生徒の研究発表は、ジュニアセッションで発表ください。

発表形式 : 口頭発表、ポスター発表

旅費補助 : 限られた範囲内で、発表者、参加者（高校生を除く）に旅費・宿泊費を補助します。（宿泊はつちやホテルになります。）

宿 泊 : 会場であるつちやホテルを Astro-HS で斡旋できる予定です。

参加・発表申込期限 : 発表者 2003年2月16日(月)

参加者 2003年3月1日(月)

宿泊申込 2003年3月1日(月)

フォーラム詳細・参加申込用紙 :

1月10日までに <http://www.astro-hs.net> に掲載します。

ダウンロードして、E-mail 添付か郵送にて、下記までお送り下さい。

問い合わせ・申込 : 〒601-8348 京都市南区吉祥院観音堂町 41

京都市立塔南高校 有本淳一

電話 : 075-681-0703 E-mail : finfo2004@astro-hs.net

* 問い合わせは、できるだけ E-mail でお願いします。

主 催 高校生天体観測ネットワーク運営委員会

共 催(予定) 天文教育普及研究会、日本天文学会、日本惑星科学会、東亜天文学会

後 援(予定) 文部科学省・国立天文台、天文学振興財団、宇宙航空研究開発機構、

日本理科教育学会、日本地学教育学会、日本理科教育協会、

日本流星研究会、東京近郊地区流星観測者会、日本プラネタリウム協会、

日本プラネタリウム研究会、全日本プラネタリウム連絡協議会、

全国天体観測施設の会、全国科学博物館協議会、掩蔽観測グループ、

日本 HOU 協会、京都大学附属花山天文台、通信総合研究所平磯太陽観測センター、

太陽研究者連絡会、ライブ!ユニバース

* この事業は、平成15年度「子ども夢基金」の助成金によって行われています。

★ その他の会合やイベント

○大人のためのクラブ活動「プラネタリウムワークショップ」

単に「見る」だけではもったいない！ プラネタリウムを自己表現の場として使ってみませんか？ 山梨県立科学館始まって以来はじめてのプラネタリウムを使ってのワークショップです。思いっきり「参加」して、自分なりの表現をしてみましょう。

日時： 第1回 1月24日（土）18:00～20:30

第2回 2月21日（土）同上

第3回 3月13日（土）同上

*全3回シリーズ（基本的に連続参加をオススメします。）

ワークショップ内容：

第1回 顔合わせ+朗読ワークショップ

ゲスト：長田由布紀氏（フリーアナウンサー）

第2回 スライドショーを作ってみよう

ゲスト：赤阪友啓氏（写真家）

第3回 朗読&スライドショー発表会

場所： 山梨県立科学館プラネタリウム、多目的ホール

対象： 一般・30名ほど

申込・問い合わせ先：山梨県立科学館天文担当

E-mail：starmail@kagakukan.pref.yamanashi.jp Tel：055-254-8159

○第34回彗星会議のご案内

今回は来春明るくなると予報されている、2大彗星の情報交換の場となるかと思えます。ふるってご参加ください。

日時：2004年3月6日（土）13時～3月7日（日）正午

場所：長野県南安曇郡豊科町「ビレッジ安曇野」

* こちらのサイトにも会議の概要と申し込みフォームがあります。

<http://homepage3.nifty.com/ynag02/comet34.htm>

申し込み締切は、宿泊を伴う参加、及び研究発表・ポスター発表は2004年1月31日、宿泊を伴わない参加については2月10日です。なお、会場収容数の関係で申し込み人数が100名に達した時点で締め切らせていただきます。

<会議の内容(予定)>

3月6日(土)

- ・2004年春の二大彗星(C/2002 T7, C/2001 Q4)観測講座【全体会議】
(二大彗星の概要と現況、光度観測、位置観測、撮影・記録、分光観測、彗星MLについて)
- ・2004年春の二大彗星(C/2002 T7, C/2001 Q4)観測講座【分科会】
(光度観測、位置観測、撮影・記録、分光観測、彗星搜索)
- ・夕食会+懇親会

3月7日(日)

- ・研究発表など
- ・ポスター発表
- ・パネル展示

なお、7日の会議終了後、自家用車でお越しの方は明科町長峰山「天平の森天文台」の見学も出来ます。会議会場より天平の森天文台まで車で約20分です。

参加費(税込み、資料代・写真代・諸経費込み):

宿泊者(1泊2食、懇親会費込み)・・・12,500円

会議と夕食・懇親会参加、宿泊なし・・・7,500円

(懇親会は19時～22時、カニと牛しゃぶ食べ放題・飲み放題となります)

会議のみ参加、宿泊なし・・・1,500円

* 参加費は参加当日、受付でお支払い下さい。

問い合わせ先: 第34回彗星会議事務局

〒381-0041 長野市徳間1594 徳間住宅345号 永井佳実(ながいよしみ)

TEL/FAX: 026-295-6023 E-mail: QWN00721@nifty.ne.jp

○葛飾区郷土と天文の博物館 スタッフ募集のお知らせ

博物館専門調査員(非常勤・天文学担当)を募集します。

応募資格: 60歳未満で天文学の知識があり、コンピュータの知識・操作ができる方。

職種・募集人数: 博物館専門調査員(天文学) 1名

勤務内容: プラネタリウムの投影解説、番組制作、各種天文教育普及事業の企画・実施などの専門的業務

勤務日時: 週30時間

日曜日～木曜日 午前9時～午後5時15分

金曜日・土曜日 午前9時～午後5時15分 または 午後1時～午後9時15分

週4日のローテーション勤務

勤務期間: 平成16年4月から1年間(更新可能)

報酬: 月額18万2900円(予定)

選考方法: 第1次 書類審査、第2次 面接(面接日は書類審査合格者に後日連絡します)

応募方法：市販の履歴書（写真貼付）と論文などの研究業績一覧・自己推薦書（書式自由）を2月8日（日）までに持参か郵送してください。

応募先：〒125-0063 東京都葛飾区白鳥 3-25-1 葛飾区郷土と天文の博物館
TEL 03(3838)1101/FAX 03(5680)0849

ホームページ：<http://www.city.katsushika.tokyo.jp/museum/index.html>

【補足】

『天文学の知識がある方』とは、大学で天文学あるいは関連分野（物理学・地球科学・理科教育等）を専攻し、科学としての天文学の一通りの基本的知識と、専攻分野の専門的知識を持った方を想定しています。

また、星や星座が好きな方、プラネタリウムや望遠鏡が好きな方よりも、科学としての天文学の面白さを理解し、それを多くの方にわかりやすく伝え、科学のすそ野を広げたいという熱意を持った方を求めています。